

## 平成 28 年度退職教員の紹介

部 局 名	医科学研究所	
氏 名	中内 啓光	
職 名	教授	
本学在職期間	平成 14 年 4 月～平成 29 年 3 月	
所 属	附属幹細胞治療研究センター	
専 門 分 野	幹細胞生物学、免疫学、血液学	
略 歴	<p>昭和 53 年 3 月 横浜市立大学医学部卒業</p> <p>昭和 58 年 3 月 本学大学院医学系研究科博士課程修了、医学博士</p> <p>昭和 58 年 6 月 スタンフォード大学医学部特別研究員</p> <p>昭和 59 年 9 月 順天堂大学医学部免疫学研究室助手</p> <p>昭和 62 年 4 月 順天堂大学医学部免疫学研究室講師</p> <p>昭和 62 年 10 月 理化学研究所国際フロンティア研究システム生体ホメオスタシス研究グループ研究員</p> <p>平成 4 年 4 月 理化学研究所 ライフサイエンス筑波研究センター造血制御研究チームリーダー</p> <p>平成 5 年 12 月 筑波大学教授</p> <p>平成 14 年 4 月 本学医科学研究所附属ヒト疾患モデル研究センター教授</p> <p>平成 20 年 4 月 本学医科学研究所附属幹細胞治療研究センター教授</p> <p>平成 26 年 1 月 スタンフォード大学教授（クロスアポイント制度による）</p>	
研 究 内 容 論文等	<p>Tomoyuki Yamaguchi*, Hideyuki Sato*, Megumi Kato-Itoh, Teppei Goto, Hiromasa Hara, Makoto Sambo, Toshihiro Kobayashi, Naoaki Mizuno, Ayaka Yanagida, Ayumi Umino, Yasunori Ohta , Sanae Hamanaka, Hideki Masaki, Dheikh Rashid, Masumi Hirabayashi and Hiromitsu Nakauchi. Interspecies organogenesis generates autologous functional islets. <b>Nature</b>, doi: 10.1038/nature21070</p> <p>Taya Y, Ota Y, Wilkinson A, Kanezawa A, Watarai H, Kasai M, Nakauchi H*, Yamazaki S*. Depleting dietary valine permits nonmyeloablative mouse hematopoietic stem cell transplantation. <b>Science</b>. 354(2016): 1152-1155.</p>	